

文化協会部門別紹介

都留詩友会

鉛筆一本と紙があったら詩を書いてみませんか。
流れる様な日常生活の中で、足を止め耳を澄ますと、いろいろなものが心を引きまします。思わず深い感動におそわれたりもします。その様な日常を詩に書いていく仲間、それが都留詩友会です。
年間の活動としては、第二、第三、第四水曜日の夜、八時より、遠藤会長宅で詩作、相互批評など研究会を行っています。隔月に、



詩誌「会報都留詩友会」を発行し、三月で百九号になりました。現在の発行部数は、三九〇部です。

年間の大きな行事として、詩の講演会を行ってきました。今までの十二回にわたり、活躍中の著名詩人を講師としてお招きし、一般市民にも研修の場として解放してきました。平成二年度は六月二十九日、三十日、七月一日の三日間、第二回詩画展を文化会館小ホールで開きます。また十一月二十五日には第十五回詩の朗読発表会を行う予定です。

詩を書く様になってから、物を見る心が育ってきたとは会員の弁です。子どもが作文を書く様な気軽な気持ちで書くことが出来る、とても楽しい会です。
あなたも会員になりませんか。

都留親と子の よい映画をみる会

昭和四十年は、成人映画が六十二本から、二八三本になった年です。翌、昭和四十一年、子供の映像文化を守る為に、埼玉親と子のよい映画をみる会が発足しました。この運動は四五〇の地域に広がり、昭和五十三年に都留親と子のよい映画をみる会（略称・都留親子映

画会）が発足しました。

スローガンは「子どもの心に愛と希望、知恵と勇気を！」です。

活動は、上映作品の選定・会場の確保・宣伝・会場整理・感想文作り・映画の自主製作に参加・その他子どもの文化に関する運動に参加協力することなどです。毎年、二回の上映会を開催しており、前回で第二十回を数えました。

会員には、子供の文化に関心をもつ大人なら誰でもなることができます。多くの方のご参加をお待ちしています。

連絡先・渡辺春子

☎(43)5040

第21回

上映会のお知らせ



オバケちゃん

日時 6月24日(日)

10時、12時、2時

場所 文化会館4階大ホール

上映作品 「オバケちゃん」

原作 松谷みよ子

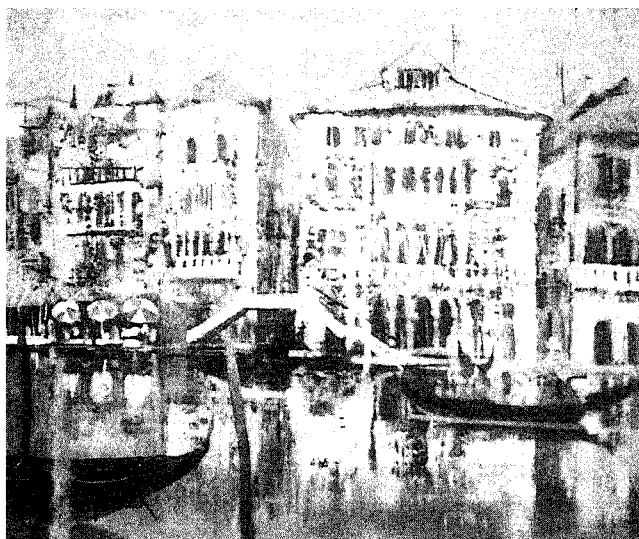
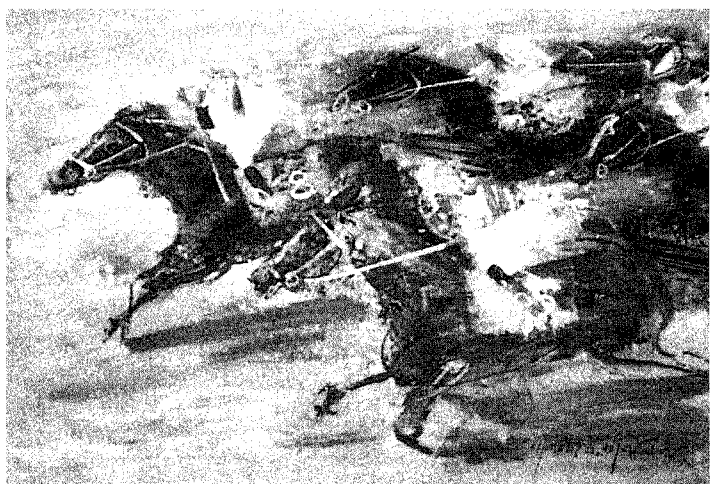
自然を守ろうというテーマで、

面白い映画を作ることで定評のある

加藤監督の会心作。加藤さんは

都留市大幡に在住です。

『競馬』



『ヴェニス』